

I 計画の概要

- ◆ **策定の背景**  
家庭の教育力向上に係る課題に対応するため、子どもをより良く育てるための保護者による学びを「親学」と称し、意識啓発の強化と情報や学習機会の提供に努めてきたが、今後は、保護者自身の努力だけでなく、社会全体で子どもを育てる仕組みの再編の一環として、社会全体で親としての成長を支えていくことが必要となっている。
- ◆ **親力とは**  
家庭教育において発揮される保護者の教育力を「親力」とし、「親が子どもを包み、育て、教育する総合的な力」と捉える。
- ◆ **計画の目的**  
本市における家庭教育支援にかかわる基本的な考え方と方向を明らかにし、関連する施策に体系的かつ計画的に取り組みむことを目的とする。
- ◆ **計画の位置付け**  
「宇都宮市地域教育推進計画（第3次宇都宮市生涯学習推進計画）」における「家庭・地域における教育活動への支援」の家庭の教育力向上にかかわる行動計画
- ◆ **計画の対象**  
将来の親を含む親とその他の大人
- ◆ **計画の期間**  
平成20年度～平成24年度までの5年間

II 本市における家庭教育の現状と課題

- **家庭教育の現状**  
社会環境の変化による家庭の教育力の低下  
・ 余裕のない労働環境、子育て負担の女性への偏重  
・ マスメディアなどによる育児情報の氾濫  
・ 子どもを取り巻く環境の悪化
- **家庭の教育力及び家庭教育に関する市民の意識**  
・ 家庭の教育力が低下している意識が強い(83.1%)  
・ 家庭教育の充実に必要なことは、親の学びの機会提供(39.2%)、子どもの体験活動機会の提供(34.6%)、親の勤務時間短縮・休暇増加(教員等 38.2%)、子育てネットワークの形成(30.9%) (家庭教育支援団体)  
・ 行政が取組むべきことは、団体活動への支援(75%)、子どもを社会の宝として育てる意識の醸成(68.8%)、団体等と連携・協働した取組(56.3%)  
・ 行政に求めることは、広報活動に関する支援(68.8%)、活動場所や機会の提供(62.5%)、経済的支援(56.3%)
- **保護者の意識**  
・ 子育てに不安や悩みを感じている(50.8%)  
・ 子育ての悩みは、子どもの教育に関すること(35.4%)、叱りすぎている気がする(29.8%)、子どもの友だちづきあい(23.9%)、子どもとの時間を十分に取れないこと(23.7%)、頼りにしている情報源は、自分の親(44%)、配偶者(34.5%)、子どもの同級生の親(29.6%)
- **本市における家庭教育支援事業の現状**  
各課それぞれが事業機会を保有し、特に講座や啓発事業においては個別に展開しているケースが多い  
・ 父親や祖父母を対象とした事業が少ない  
・ 指導者や支援者の育成事業や家庭教育支援団体と連携協力した取組が少ない、ネットワーキング化が行われていない  
・ 企業に対する働きかけが少ない

- **家庭の教育力向上を図るための課題**
- (1) **親自身の教育能力の向上**  
・ 知識の習得より行動につながる気づきの学び  
・ 親になる前からの親になるための学習  
・ 保護者に大きな影響を与える祖母の学びの場  
・ 家庭教育への関わりが少ない父親への対応

- (2) **家庭の教育力を支える環境づくり**  
① 地域が支える意識の高揚  
・ 地域教育活動への支援  
② 家庭教育支援活動者が支える  
・ 活動への支援  
・ 人材の育成  
③ 企業が支える  
・ 意識啓発、取組の促進

III 家庭教育支援の基本的な考え方と方針

**基本理念**  
社会が支え、親がかがやき、子どもの夢を育む家庭教育の実現

**基本目標**  
親が自信をもち、安心して子どもを育てることができるよう、社会全体で親力の向上を支援します。  
【基本指標】 子育てが楽しいと感じる親の割合が増加する。  
64.1% (平成19年度) ⇒ 70% (平成24年度)

**基本方針**

- 人とつながる場や機会の充実  
子育て中の保護者が、親と親、人と人とのつながりを築くことができるよう、出会う場や機会の充実が努めます。
- 子育て期に応じた親学支援  
子どもをより良く育てるための保護者の学びを支えるため、子育て期に応じた学習機会の提供に努めます。
- 組織がつながり社会で支える  
**親力向上支援体制の構築**  
地域や企業、関係機関と連携し、社会全体で家庭や子育てを支え、親力の向上を図るための仕組みづくりを努めます。

IV 施策の推進

- 子育て中の保護者の交流機会の充実
- 地域における交流を支える支援者・団体の育成
- 家庭教育に関する意識啓発・情報提供の充実
- 子育て期に応じた学習機会の提供
- 次世代の親の育成
- 子どもの教育に関する相談の充実
- 「社会の宝」として子どもを育てる地域活動の促進
- 関係機関、家庭教育支援団体等との連携の強化
- 企業との連携の強化
- 連携と協力による推進体制の構築

V 重点事業

- 子どもの家における子育て支援事業の充実 (拡充)  
＜目標＞研修会実施回数(年2回⇒年4回)
  - 家庭教育サポーターの養成 (新規)  
＜目標＞養成講座実施回数(⇒年1回)
  - 家庭教育講座の充実 (拡充)  
＜目標＞親力向上の視点を取り入れた講座数(42講座⇒54講座)
  - ファミリーリングの推進 (新規)  
＜目標＞父親を楽しむための講座開催回数(⇒年3回)
  - 新成人に対する親学の実施 (新規)  
＜目標＞新成人対象親学実施回数(⇒年23回)
  - 「宇都宮版CSR」の構築 (新規)  
＜目標＞平成20年度までに制度構築
  - 親力向上支援企業顕彰制度の構築 (新規)  
＜目標＞平成21年度までに制度構築
  - 家庭教育支援センター機能の整備 (新規)  
＜目標＞平成23年度までに整備
- ※：父親であることを楽しむ生き方

VI 計画を推進するために

- 家庭の教育力を支える4つの支援と役割
  - 地域からの支援
  - 学校等からの支援
  - 家庭教育支援団体等からの支援
  - 企業からの支援
- 推進体制  
親力向上推進委員会
- 進行管理  
親力向上推進委員会による進捗状況の把握  
社会教育委員の会議からの具体的な事業推進方策の意見聴取